

公開シンポジウム

望ましい教員人事のあり方を考える

名古屋市推薦名簿・金品授受問題等最終報告書をどう読むか

名古屋市教育委員会の教員人事をめぐる推薦名簿・金品授受問題で、調査検証チームは 8 月 28 日に「最終報告書」をとりまとめました。検証チームは推薦名簿や金品授受等で昇任人事が歪められたことは確認できなかったが、このような「慣習」は不適切であると厳しく糾弾しました。しかし、愛教大出身者、教科等の研究会の会員、特定の職員団体役員であることをもって人事上の不当な優遇措置があったとは言えないとの判断を示しました。再発防止策として主幹教諭制度を全面的に運用することも求めています。この報告書は、名古屋には学閥問題は存在しないとでも言うような、名古屋の教育現場の実態から離れた内容のものだと判断せざるを得ません。

今回のシンポジウムでは各団体からの報告書に関する総括的コメントを受け、報告書の事実認識の問題、学閥の影響の実態、提言されている教員人事改革案の問題などを検討し、あるべき教員人事のあり方を考えていきます。

日時：9 月 28 日（土）午後 1 時半から 4 時半 受付開始は 1:10 より

会場：労働会館（本館）第 4・5 会議室

（名古屋・金山駅から徒歩 8 分）

参加費：500 円（予約不要）

教員団体からの金品授受等に係る調査検証チームの会議開催状況、報告書本文、概要版等は以下の頁にまとめられています。

<https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000173832.html>

*「報告書」は各自、ご用意ください。当日の資料としては配付しません。



主催

あいち県民教育研究所（あいち民研）

愛知県教職員労働組合協議会（愛教労）

名古屋教職員の会（教職員の会）

問い合わせ先 あいち民研事務局 office@aichi-minken.sakura.ne.jp